



センコーグループ
第104期 中間報告書

2020年4月1日～2020年9月30日

中期経営5ヵ年計画の4年目。
厳しい事業環境の中、
グループ一丸となって
業績の回復に努めてまいります。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
ここに第104期中間期における営業の概況と
決算につきましてご報告申し上げます。

■ 当中間期の事業環境

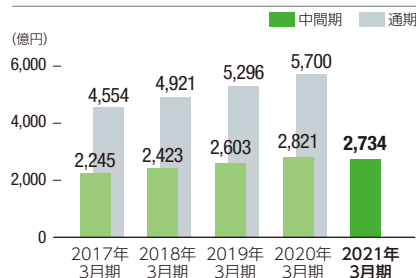
当第2四半期連結累計期間(中間期)における経済環境は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の解除後、徐々に経済活動が再開したものの、終息の目は立っておらず、依然として不透明な状況で推移いたしました。

■ 当中間期の取り組みと実績

当中間期の連結営業収益は、物流事業ならびにその他事業において新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受け、2,734億49百万円と対前年同期比86億21百万円の減収となりました。

利益面におきましては、拡販、経費削減ならびにコスト改善・生産性向上にグループ全体で取り組んでまいりました結果、7~9月期においては、前年と比べて営業増益となりましたが、4~6月期の減益影響が大きく、連結営業利益、連結

連結営業収益(売上高)



代表取締役社長
福田 泰久

経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも前年同期を下回る結果となりました。

■ 事業別の取り組みと業績

物流事業では、ディスカウントストア、ドラッグストアなどのチェーンストア関連の物量増がありました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、ファッション関連や、住宅関連、ケミカル関連、学校給食・外食産業向けの冷凍冷蔵食品の物量などが大きく減少し、営業収益は1,880億68百万円と対前年同期比81億30百万円の減収となりました。拡販、経費削減ならびにコスト改善・生産性向上に努めましたが、セグメント利益は85億59百万円と対前年同期比2億49百万円の減益となりました。

商事貿易事業では、燃料販売の減少などにより、営業収益は775億34百万円と対前年同期比3億69百万円の減収となりました。一方で、家庭紙の販売価格是正の推進、宅配ニーズ増加に伴う日用品の販売増などにより、セグメント利益は、14億61百万円と対前年同期比4億65百万円の増益となりました。

その他事業では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、ホテル、フィットネスジム、デイサービス、飲食店などの利用者が大きく減少し、営業収益は78億46百万円と対前年同期比1億20百万円の減収、セグメント損失は26百万円と対前年同期比9億32百万円の減益となりました。

■ 年間配当金は26円を継続予定

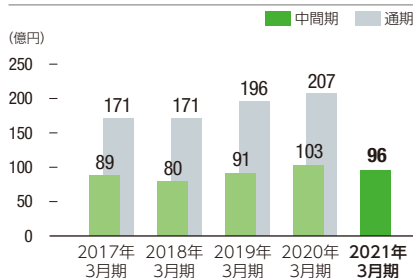
当社は、安定配当に加え、業績連動を考慮した配当を実施することを利益配分に関する基本方針としております。当期の中間配当金につきましては、1株当たり13円とし、年間配当金は期末配当金と合わせ、26円を予定しております。

今後も、当社はグループ一丸となって、さらなる発展に全力で取り組んでまいりますので、株主の皆さまにおかれましては、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

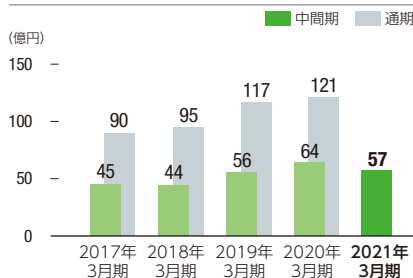
免責事項

本報告書で記述されている将来についての事項などは、予測しない経済状況の変化などさまざまな要因の影響を受けるため、その結果について当社グループが保証するものではありません。

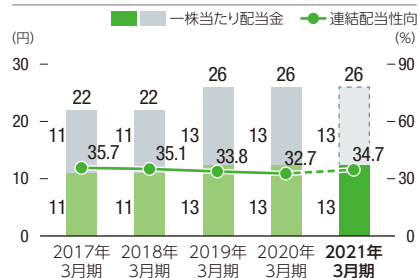
連結営業利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



一株当たり配当金／連結配当性向



第104期中間期のセグメント別(事業別)の概況をお知らせします

物流事業

営業収益 **1,881** 億円 営業利益 **86** 億円

チェーンストア関連の物量増の一方、新型コロナウイルスの影響で、ファッション、住宅、ケミカル、冷凍冷蔵物量などが大きく減少し、営業収益は1,880億68百万円と対前期比81億30百万円の減収となりました。拡販、コスト改善・生産性向上に努めましたが、セグメント利益は85億59百万円と対前年同期比2億49百万円の減益となりました。



流通ロジスティクス

事業収入 **1,107** 億円

当期の収入は1,107億円と対前期比3億円の減収となりました。



住宅物流

事業収入 **286** 億円

当期の収入は286億円と対前期比32億円の減収となりました。



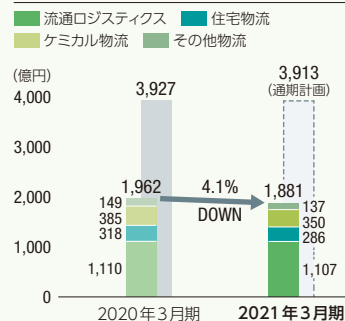
ケミカル物流

事業収入 **350** 億円

当期の収入は350億円と対前期比35億円の減収となりました。



事業収入

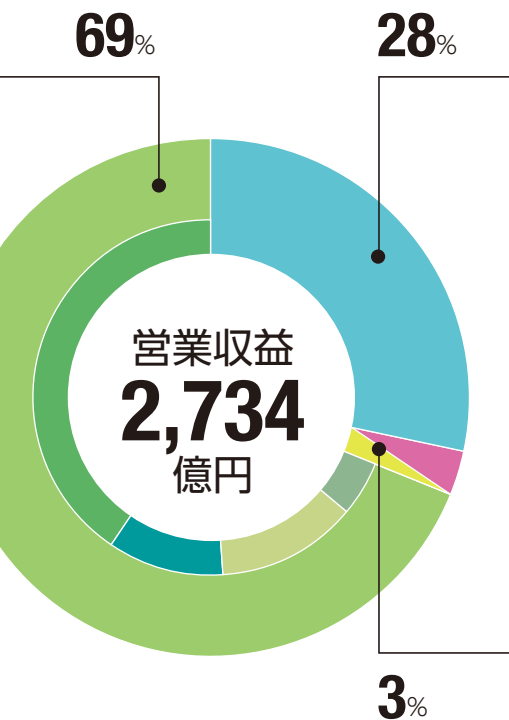


その他物流

事業収入 **137** 億円

当期の収入は137億円と対前期比12億円の減収となりました。





商事・貿易事業

営業収益 **775** 億円 営業利益 **15** 億円

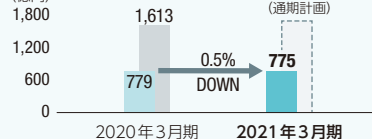
燃料販売の減少などにより、営業収益は775億34百万円と対前年同期比3億69百万円の減収となりました。一方で、家庭紙の販売価格是正の推進、宅配ニーズ増加に伴う日用品の販売増などにより、セグメント利益は、14億61百万円と対前年同期比4億65百万円の増益となりました。



事業収入

■ 営業収益

(億円)



その他事業

営業収益 **78** 億円 営業利益 **0** 億円

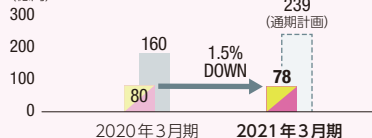
新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、ホテル、フィットネスジム、デイサービス、飲食店などの利用者が大きく減少し、営業収益は78億46百万円と対前期比1億20百万円の減収、セグメント損失は26百万円と対前年同期比9億32百万円の減益となりました。



事業収入

■ 営業収益

(億円)



グループ全体でCSR/ESGへの取り組みを加速しています

ESG(環境・社会・ガバナンス)が投資分野でも重要視されています

昨今、SDGsと共にESG投資が世界的に注目されています。

日本でも、機関投資家の総運用資産に占めるサステナブル投資※の割合が2019年に5割を超えました(右表)。センコーグループは、環境に優しい物流や人々の生活を支援する施設展開など、積極的にESG活動に取り組んでいます。

※経済・環境。社会の持続性に配慮した投資手法

| | 2018年 | 2019年 | 前年比 |
|---------------|-------|-------|------|
| サステナブル投資残高合計 | 231兆円 | 336兆円 | +45% |
| 総運用資産残高に占める割合 | 41.7% | 55.9% | |

出所 サステナブル投資残高アンケート2019
(NPO法人日本サステナブル投資フォーラム)

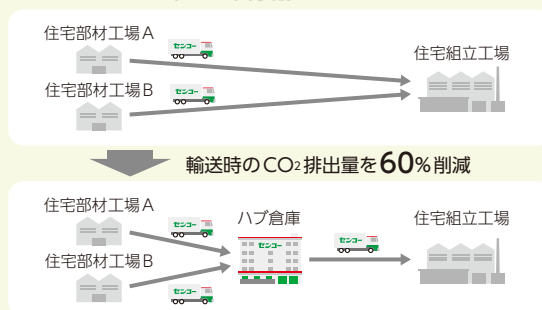
「第21回物流環境大賞」で部門賞2件受賞

2020年6月、センコー(株)が一般社団法人日本物流団体連合会から「第21回物流環境大賞」部門賞2件を受賞しました。

「物流環境保全活動賞」では、製紙用原料の鉄道輸送へのモーダルシフトと片道輸送となっていたコンテナを帰り荷輸送にも利用したことが評価されたものです。

「物流環境特別賞」では、住宅部材輸送において生産会社から個別にトラック輸送していたものを倉庫に集約してまとめて納入する体制(右図)が評価され受賞しました。

住宅部材輸送の改善



グローバル・コンパクトに署名しました

センコーグループホールディングス(株)は、国連グローバル・コンパクト(UNGC)に署名し、2020年10月、参加企業として登録されました。

UNGCとは、国際連合が提唱する持続可能な成長を実現するための世界的な枠組みのことで、参加企業は、人権の保護、不当労働の排除、環境への対応、腐敗防止に関わる原則を支持し、その実現に寄与する活動を行います。センコーグループは、署名によりこれまで以上にこれらの活動を充実させるとともに、事業を通じて社会課題の解決と新しい価値の創造を目指し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

WE SUPPORT



グリーン物流推進への資金調達 ～グリーンボンドを発行

2020年9月、センコーグループホールディングス(株)は国内市場において公募形式によるグリーンボンドを発行しました。

当社グループは、東海エリアでの物流効率化とモーダルシフトの提供を通じたグリーン物流推進のため、岐阜羽島PDセンターと湾岸弥富PDセンターの建設を計画しています。

物流の効率化やグリーン物流の推進は、CO₂削減に寄与することから、地球環境に対する当社グループの姿勢をより明確に示すために、建設資金をグリーンボンドの発行により調達するものです。



岐阜羽島PDセンター



湾岸弥富PDセンター

「人々の生活を支援する」理念に沿い 住宅型老人ホーム2か所を新設

(株)けいはんなヘルパーステーションは、4月に「トゥインクル瀬田」(滋賀県大津市)、6月に「トゥインクルプラス東生駒」(奈良県生駒市)を開業しました。

「トゥインクルプラス東生駒」は、同社初の「サービス付き高齢者向け住宅」です。高級感と安心感のある住まいをコンセプトとし、ウッドデッキ付きの食堂や地域とのコミュニケーションにも利用できる多目的ルームなどを備え、居住性を高めています。

また両施設とも、訪問介護事業所を併設し、利用者の要介護度に合わせたきめ細かなサービスを提供します。



トゥインクル瀬田



トゥインクルプラス東生駒

当社は複数のESGインデックスに選定されています

センコーグループホールディングス(株)は昨年に引き続き、年金積立管理運用独立行政法人が選定したESG投資のための株価指数の構成銘柄に採用されるなど、高い評価を受けています。

2020 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2020 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)



※MSCI指数への組入れ、及び本ページにおけるMSCIのロゴ、商標、サービスマーク、指数名称の使用は、MSCIやその関連会社によるセンコーグループホールディングス株式会社の後援、保証、販売促進ではありません。MSCI指数はMSCIの独占的財産です。MSCI及びその指数の名称及びロゴは、MSCIやその関連会社の商標またはサービスマークです。

株主・投資家様とともに、社会のニーズに応じていきます

物流需要の増加に対応し、拠点を拡大しています

4月7日、(株)ランテックは2階建て冷凍冷蔵倉庫の「門司支店」(北九州市門司区)を新築しました。建物両面に33台接車可能なトラックバースとドックシェルターを設け、外気温に触れることなく荷捌きが可能です。省エネ型の冷却設備導入や太陽光発電の自家消費など、環境対策にも注力しています。



ランテック門司支店

また7月1日、センコー(株)は「立川物流センター」(東京都立川市)を開設しました。ネット通販大手企業様の商品保管や仕分け業務を行い、需要が高まるEC物流への対応を図ります。さらに、事業・店舗拡大が続く大手ドラッグストア様の商品保管・仕分け・店舗配送業務も行うとともに、西東京エリアでの事業基盤を強化します。



立川物流センター

欧州物流ネットワーク構築に向け、ドイツに現地法人を設立

7月20日、センコー(株)はドイツのデュッセルドルフ市に現地法人 Senko Logistics (Europe) GmbH を設立しました。

今回の現地法人設立により、欧州に進出している日本の取引先に向けて一貫したサプライチェーンを提供するとともに、中東やアフリカなどの周辺エリアでのコールドチェーンなど、新サービス展開も視野に海外での物流ネットワークを拡充していきます。



ケミカルタンカー「吉祥」を竣工 既存顧客の物流増などに対応

8月18日、日本マリン(株)は、新造したケミカルタンカー「吉祥(きっしょう)」を就航させました。

「吉祥」は、日本マリンの既存顧客に対する輸送サービスの強化と、センコー(株)が新たに獲得した海上輸送業務に対応するために建造したものです。本船は、瀬戸内海の各港を巡行し、濃硫酸・発煙硫酸などの輸送を行っています。

今後も輸送サービスの向上と新規顧客開拓で海運事業のさらなる拡大を図ります。



子育て事業へ新たに参入 保育所運営の(株)プロケアをグループ化

8月31日、センコーグループホールディングス(株)は(株)プロケアの全株式を取得し、グループに迎えました。

(株)プロケアは、東京都を中心に全国54カ所で保育所や学童クラブなどを運営し、待機児童の解消や子育て世代の女性の社会進出を支援してきました。

センコーグループに加わることで(株)プロケアは、保育所の新規開設、学童クラブ等の新規受託、保育のクオリティー向上や新サービスの提供等による差別化などで、さらなる事業拡大を図ります。さらに、センコーグループにおける企業内保育所の拡充やリソースを活用した業務の効率化、人材確保などに取り組みます。



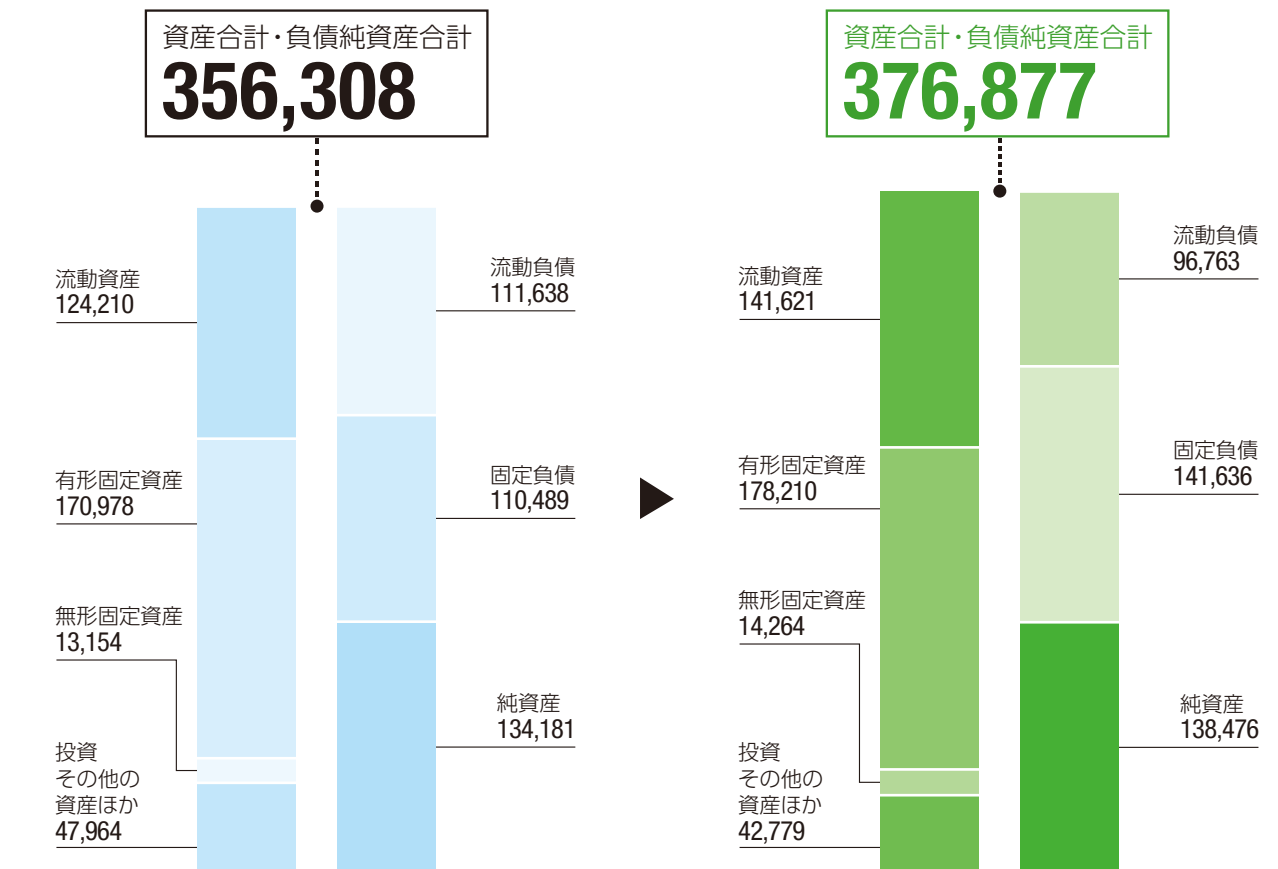
連結財務状況

貸借対照表の概要

単位：百万円

2020年3月31日

2020年9月30日



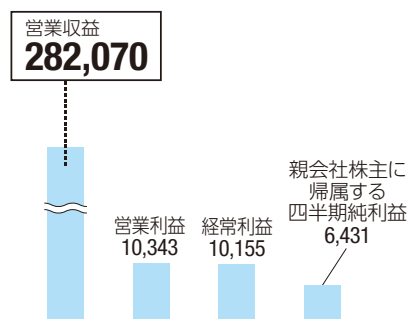
詳細な財務諸表は、下記URLもしくは
右の2次元バーコードからご覧いただけます。
<https://www.senkogrouphd.co.jp/ir/library/brief/>



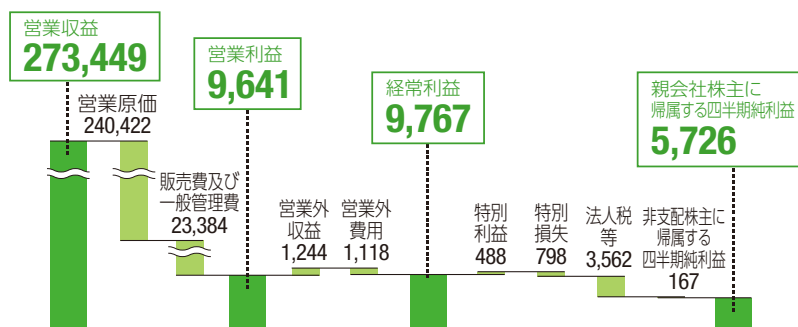
損益計算書の概要

単位：百万円

2019年4月1日～2019年9月30日



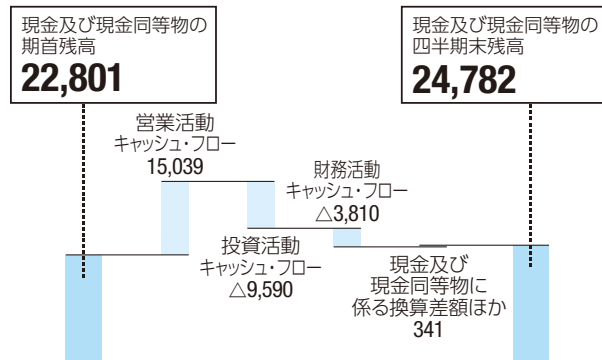
2020年4月1日～2020年9月30日



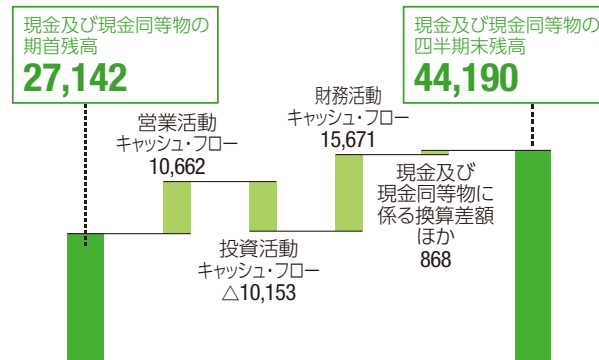
キャッシュ・フロー計算書の概要

単位：百万円

2019年4月1日～2019年9月30日



2020年4月1日～2020年9月30日



会社概要

(2020年9月30日)

| | | |
|----------|--|--|
| 商号 | センコーグループホールディングス株式会社 (SENKO Group Holdings Co., Ltd.) | |
| 創業 | 1916年9月 | |
| 設立 | 1946年7月 | |
| 本社所在地 | 東京都江東区潮見二丁目8番10号 | |
| 資本金 | 265億64百万円 | |
| グループ従業員数 | 18,214名 | |
| グループ会社数 | 130社(子会社120社、関連会社10社) | |

役員

(2020年9月30日)

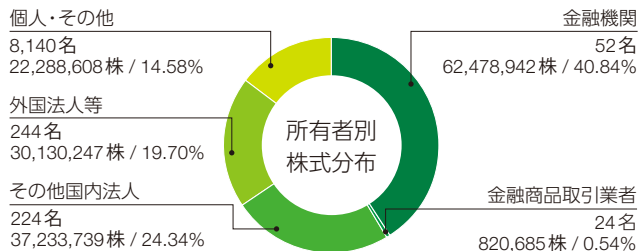
| | | | |
|-----------|--------|--------|-------|
| 代表取締役社長 | 福田 泰久 | 常勤監査役 | 松原 圭治 |
| 取締役常務執行役員 | 佐々木 信郎 | 常勤監査役 | 鷲田 正己 |
| 取締役常務執行役員 | 白木 健一 | 常勤監査役 | 安光 幹治 |
| 取締役常務執行役員 | 上中 正敦 | 常勤監査役 | 松友 泰 |
| 取締役常務執行役員 | 村尾 進一 | 常務執行役員 | 大野 茂 |
| 取締役 | 山中 一裕 | 常務執行役員 | 竹谷 聡 |
| 取締役 | 米司 博 | 執行役員 | 篠原 信治 |
| 取締役 | 谷口 玲 | 執行役員 | 小久保 悟 |
| 取締役 | 飴野 仁子 | 執行役員 | 増田 康裕 |
| 取締役 | 杉浦 康之 | | |
| 取締役 | 荒木 葉子 | | |

株式の状況

(2020年9月30日)

| | |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 294,999,000株 |
| 発行済株式総数 | 152,952,221株 |
| 株主総数 | 8,684名 |

所有者別株式分布



株主メモ

| | |
|--------------|---|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 期末配当金受領株主確定日 | 3月31日 |
| 中間配当金受領株主確定日 | 9月30日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 株主名簿管理人 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料) |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 |
| 公告の方法 | 電子公告により行う 公告掲載URL https://www.senkogrouphd.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に公告いたします。) |

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 株式に関する「マイナンバー制度」のご案内
税務関係のお手続きのため、株主さまから、お取引の証券会社などへマイナンバーをお届いただく必要がございます。お届出のお手続きについては、口座を開設されている証券会社などへお尋ねください。

UD
FONT

VEGETABLE
OIL INK

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

センコーグループホールディングス株式会社

〒135-0052 東京都江東区潮見二丁目8番10号

URL <https://www.senkogrouphd.co.jp>